

きぼうの詩 あしたの詩



社団法人 日本作詩家協会 年刊詩謡集

1988年版

詩人の詩と詩

社団法人日本作詩家協会年刊詩謡集

1988年版

序にかえて

—花の彩り—

会長 石本 美由起

二十代のひと

三十代のひと

四十代 五十代のひと、それにボクみたいに、六十代のものも、

誰も彼もが、一篇ずつの詩を持ちよって、出来上った詩集……………。

これは、昭和四十五年、詩謡集の発刊にあたり、当時のサトウハチロー会長に書いて頂いた、序文の一節である。

あれから、二十年近い歳月が流れたが、私たちの詩精神は、いささかも退潮することなく、現在、その勢いは、さらに逞しさを増している。

或る日、

「今年は、参加作品数が三六七篇ですよ……………」と、編纂委員から、嬉しい知らせを頂いた。

記録更新の参加数である。

多少、作品に、出来・不出来はあるとしても、会員諸君の作品に対する、思い入れに優劣は無い。

私は、一篇 一篇、その作品が持つ心情と、競い咲く花にも似た、その彩りに眼を輝かせたい。

目次

〔氏名五十音順〕

序	文	石本	美由起	一
雪	子	あい	たかし	二
おんな浜唄	愛川	あい	あい	三
望	郷	愛	行子	三
ぼくの命綱	葵	昭人	昭人	三
津軽の恋唄	青木	三郎	三郎	四
相模路	赤城	芙士夫	芙士夫	五
われらの女王に捧げる歌	あき	たかし	たかし	六
登り竜	秋	ひろし	ひろし	七
砂漠の季節	秋田	泰治	泰治	八
待っていてくれあと三年	麻	こよみ	こよみ	九
悪	女	浅沼	久美子	三
哀愁港	町	飛鳥井	芳朗	三
裏町波止場	ア	ペ・イチロー	ペ・イチロー	三
伊豆の砂時計	天田	亨	亨	三
甘い仕草で	天野	哲弘	哲弘	四
俺に咲く花	鮎川	公正	公正	五
八百屋さんだよ	荒川	利夫	利夫	六
今日と明日の間	荒木	忠雄	忠雄	七

花埋	雪舞	出船	お地藏さん	ニッコウキスゲ	能登の火祭り	東京カルメン	炎上	苦い	彼岸	明	あの人は山男	嫁ぐ	やん衆	風	人	西伊豆の宿	船のバカ	わかれの岬	尻切れとんぼ	妻のまごころ	大島の灯	北海ヤン衆船
み	い	太鼓	さん	スゲ	祭り	メン	歌	酒	花	日	山男	朝	一代	よ	盃	の宿	の岬	とんぼ	まごころ	の灯	ヤン衆船	
.....
一柳	いち	伊丹	板倉	井田	いその	磯	石本	石本	いしだ	石坂	石川	石川	石	いけや	生駒	池上	生田	飯田	安藤	淡路	有田	荒木
京介	はじめ	将人	文子	誠一	あきお	かずと	美由起	久仁雄	保郎	まさを	泰久	孝志	一十	かつとし	かつゆき	信	恵子	悠介	潤	しのぶ	花外	良治
.....
六	六	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	四	四	四	四	四	四	四	四	四	三	三

恋慕情……………	伊藤悟……………	三
お蚕さん……………	伊藤太郎……………	三
俺もお前も辛いよな……………	もりお……………	三
哀愁酒……………	たけし……………	三
母恋岬……………	爽秋……………	三
昔ばなし……………	融……………	三
雪どけの頃……………	のぼる……………	三
君はいずこに……………	宗彦……………	三
人生一粒なみだ……………	和子……………	三
女の花舞台……………	修……………	三
菜の花哀愁……………	昭治……………	三
鳴門秘帖……………	幸男……………	三
命恋……………	ひろし……………	三
藤の別れ……………	小筆……………	三
演歌いのち……………	道之輔……………	三
雨の西伊豆……………	竹雄……………	三
母の祈り……………	たけし……………	三
水色の傘……………	夕焼……………	三
絵三代……………	善士……………	三
昆明慕情……………	正次……………	三
寝化粧……………	美代……………	三
狼三度笠……………	清太郎……………	三
愛の流れ星……………	常治……………	三
好きだった……………	沈慧……………	三
……………	江口……………	三

ひたむき	海老澤	孝一	六
恋ボタル	遠藤	まさき	七
地球岬	大倉	芳郎	八
遠州灘	大崎	二三子	九
酒場の子守唄	大澤	陽央	一〇
マニキュア	大嶋	なほみ	一一
乱れ酒	大田	寿耕	一二
父さん	大沼	里榮	一三
最終列車	大橋	明	一四
幸せ探し	大橋	哲郎	一五
アフリカドォワル	大前	裕子	一六
万葉娼婦	大森	富士子	一七
こころ船	大屋敷	正見	一八
これがさだめというものでしょか	おいだ	みのと	一九
おんなの夜	岡	詩子	二〇
採花夢幻	岡本	和子	二一
縁歌	小川	比富美	二二
もうひとつのそれから	萩原	久美子	二三
奥尻・北追岬	奥村	和弘	二四
山茶花は何故赤い	おだ	みさを	二五
とりあえず	おち	としこ	二六
男の命灯	落合	秀男	二七
北の奴・南の奴	小野	都久	二八
人生七福神	小野	津加佐	二九

地 中 海	小野塚	清 一	二〇
野 良 犬	おもて	やちよ	二一
港町通り雨	小山	良	二三
男まさり	折戸	勝史	二三
北 陸 情 話	甲斐	新	二四
父 <small>ちち</small> 娘 <small>むすめ</small>	河野	充伸	二五
ゴルフ小唄	かとう	えつろう	二六
ト ゲ	加藤	テール	二七
おんな川	加藤	完二	二八
い い 男	春日井	博	二九
情 け 宿	かつま	よしえ	三〇
私は本気貴男はきまぐれ	叶	命恵	三一
夫 婦 旅	神作	光志	三三
花 し ず め	河井	哲治	三三
ふるさと初恋景色	かわうち	のぼる	三四
おさん恋暦	川口	武 男	三五
黄 門 さ ん	川 西	美智子	三六
想い出舞酔い酒	北 田	幸子	三七
彼 女 恋 し	木 立	雄 幸	三六
紅 椿	北 原	いずみ	三九
てんどん好きな二人	木 庭	武	三〇
愛のカード	北 村	直之	三三
会津の千次	木 村	壮吉	三三
女のひとり旅	木 村	千代喜	三三

か	し	こ	國井	ただし	一三〇	
あつ	い恋	ごころ	倉島	雅三	一三五	
君は	花の	ように	栗沢	涼	一三六	
もう	愛	せない	栗田	俊一	一三七	
恋の	無情	川	黒川	良人	一三八	
浜	辺	くろす	桂子	一三九	
湘南	の	海	小池	虎夫	一四〇	
土佐	の	度胸船	ここの	しげお	一四一	
夢	慕	情	古頃	正章	一四二	
男が	涙を	流すとき	越野	みのる	一四三	
恋	無	情	五城	しげみ	一四四	
おふ	くろ	の	涙	小島	高志	一四五	
風花	の	女	小寺	紀代子	一四六	
遠い	あなたに	小林	金次郎	一四七	
女の	情	話	小林	たけし	一四八	
東京	遊	牧	民	小林	すみ江	一四九	
花	小	路	小林	須美子	一五〇	
女の	グ	ラス	こばやし	克至	一五一	
棟上	げ	祝	い	唄	しげる	一五二	
津	軽	囃	子	卓	一五三	
北海	恋	唄	阪内	一夫	一五四	
豆腐	の	見	舞	佐久間	常夫	一五五
一匹	人	生	桜	詩恵	一五六	
無	敗	の	敵	桜井	諒	一五七

哀愁高原……………	桜本	繁……………	二五
たおやかな君よ……………	佐々木	哲夫……………	二五
未練カモメ……………	佐々木	安伸……………	二六
田舎線よ……………	佐田	英介……………	二六
影法師……………	さとう	ひでを……………	二六
袖恋びと……………	佐藤	邦夫……………	二七
ふたりの海峡……………	佐藤	としかず……………	二八
別れ宿……………	佐藤	進……………	二八
関東仁義花……………	佐藤	英明……………	二八
恋人岬……………	佐藤	秀千代……………	二七
布由子……………	佐藤	正美……………	二六
輪……………	佐東	たどる……………	二九
男達の挽歌……………	里村	龍一……………	二七
寒くなるのね……………	さとの	深花……………	二七
別離……………	さの	いわお……………	二七
涙町三丁目……………	沢	ひとし……………	二七
男と女のめぐり逢い……………	椎名	英威子……………	二七
ヨコハマ・ベイ・ブルース……………	志賀	大介……………	二七
渡良瀬川恋唄……………	柴田	恒男……………	二七
アカシヤ慕情……………	柴田	よしかず……………	二七
恋爛漫……………	芝山	和子……………	二七
霧の上高地……………	嵐	馨子……………	二七
男の夢捜し……………	志摩	小五郎……………	二八
母なる川……………	島	ちどり……………	二八

泣いてたまるか人生は……………	島	信之……………	一八二
十勝あきあじ船……………	嶋木	重雄……………	一八三
百日紅……………	志摩	よし子……………	一八四
薄化粧……………	下地	亜記子……………	一八五
夢酒場……………	下野	登美子……………	一八六
道中スゴロク……………	秀生	明……………	一八七
大漁太鼓……………	周東	敬二……………	一八八
人生のお色直し……………	新保	治平……………	一八九
昭和子守唄……………	菅	麻貴子……………	一九〇
君につながるものばかり……………	眇田	栄一……………	一九一
おふくろの花……………	菅野	政義……………	一九二
夫婦笠……………	菅原	良平……………	一九三
北の果て……………	鈴木	きよ……………	一九四
嘘は恋の始まりね……………	鈴木	昭一……………	一九五
東京宅急便……………	鈴木	信也……………	一九六
独り旅人……………	鈴木	孝……………	一九七
ライラック……………	鈴木	みつぐ……………	一九八
秋桜……………	鈴木	れい子……………	一九九
命の燈台……………	須田	勝雄……………	二〇〇
夜とお酒の恋したて……………	須田	茂樹……………	二〇一
いけず……………	炭谷	昌彦……………	二〇二
ネオン花……………	住吉	成美……………	二〇三
みちのく帰行……………	関口	義明……………	二〇四
雪国の女……………	関沢	ただしげ……………	二〇五

かもめの宿	瀬戸	千秋	二〇六
仙台湾に雨が降る	相馬	詩彦	二〇七
番屋の灯	平	つかさ	二〇八
拝啓母さん	高木	洋子	二〇九
淡雪	高城	庸子	二一〇
バスストップ	高田	エイ子	二一一
冬枯れ波止場	高橋	一仁	二一二
さだめ春日局の旅路	高橋	テツ子	二一三
恨んだぶんだけやせました	高畠	じゅん子	二一四
女酒	高畑	和之	二一五
おふくろよ	高野	和夫	二一六
おもいでマンション	高橋	直人	二一七
人生碁	高橋	ゆきを	二一八
六道輪廻の子守唄	高橋	養一	二一九
山吹きの雨	高野	礼子	二二〇
港妻	高安	弘	二二一
寝台特急「北斗星」	多岐川	まさし	二二三
恋のウイークリー	滝田	常晴	二二三
あ、原爆の日・忘れじの日よ	竹内	きよと	二二四
ソープ哀歓	田口	ゆたか	二二五
君恋町二十三番地	立川	かね	二二六
Sherry Clubの恋人	館入	司	二二七
夢の花別れ花	田中	衆兵	二二八
夕焼け小焼けの丘の径	田中	凡夫	二二九

静御前	谷	としお	三〇
秋暮れて	たにはら	伸	三三
演歌巡礼ひとり旅	田畑	しげき	三三
みれん雨	玉川	良一	三五
ゆのみの花	玉木	一史	三四
泣不花	玉利	要	三五
港町旅愁	田村	和男	三六
たるまえ慕情	千葉	規翁	三七
愛降り止まず	千葉	幸雄	三八
螢火の宿	津久井	ひろし	三九
未練宿	土屋	正敬	四〇
海峡演歌	塚谷	清一	四一
寿楽園物語	対馬	慎一郎	四二
銭太鼓	津島	裕次	四三
きたの唱歌	津田	辰臣	四四
鳴門恋路	堤	三郎	四五
愛の終着	寺輪	あき子	四六
みずさわ情話	遠山	哲哉	四七
笛	戸枝	ひろし	四八
命花	戸波	かずゑ	四九
竹生島	富田	洋之	五〇
千粒の涙	戸田	富久子	五一
恋しぐれ	轟	大地	五二
月夜の仕事	鳥羽	貞子	五三

むさしの鴉	外松	たつお	二五
冬椿	豊原	史丈	二五
嵯峨野の雨	鳥居	紗衣	二五
少しチッコクなつたけど	中川	恭介	二五
孫悟空	中川	肇	二五
人生哀歌	長島	ゆたか	二五
あとには何もない	なかにし	礼	二六
津和野	中野	惣太郎	二六
東京の女豹	中村	弘	二六
オホーツクの居候	中村	よしかず	二六
苦勞坂	中山	邦雄	二六
君はハーバライト	中山	大三郎	二六
針葉樹林	中山	正好	二六
新宿峠	那須野	巖	二七
あした酒	名月	秋太郎	二六
人生杖突峠	成瀬	左千夫	二六
十九のひと	新垣	幸子	二七
雪女	仁井谷	俊也	二七
思い出ありがとう	西	順子	二七
放哉しぐれ庵	沼川	淳	二七
酒場のきつね	根本	昌幸	二七
里の秋	能丸	武	二七
雨と傘	能勢	英男	二七
心	のたき	ひであき	二七

電話でウフフ……………	野本	サカエ……………	二七六
情（こころ）……………	野村	耕三……………	二七九
ふれあいタイム……………	はしお	あきら……………	二八〇
望郷流れ星……………	橋間	哲也……………	二八一
越後つついし風待ち港……………	長谷川	洋……………	二八三
愛を感じて……………	はぜやま	清美……………	二八三
挑 戦……………	はなぶさ	ひろし……………	二八四
ひろしま……………	英	玲二……………	二八五
酔いどれ炎歌……………	浜	一朗……………	二八六
日の目坂……………	浜	実……………	二八七
愛しい人……………	羽村	真人……………	二八八
人情酒場……………	林	徹……………	二八九
港のおんな……………	原	文彦……………	二九〇
孤愁の丘……………	伴在	主計……………	二九一
ムキ慕色……………	ひがし	暁……………	二九三
いい夢見たわ……………	広野	アイ子……………	二九三
恋人気どり……………	平井	健一……………	二九四
癌……………	平川	せいぎ……………	二九五
母 娘……………	平山	忠夫……………	二九六
おやじ酒……………	福沢	てつや……………	二九七
俺 の 夢……………	藤	勝……………	二九八
待ち焦れ船……………	藤枝	省一……………	二九九
新らしい旅へ……………	藤田	けんじ……………	三〇〇
愛の伝説……………	伏見	素絵……………	三〇一

やじろべえ	二木	葉子	三〇三
恋の挽歌	文月	豊	三〇三
なれたらいい	古野	哲也	三〇四
夫婦纏	ぶんご	ぶぜん	三〇五
幻の城	ぼく	はじめ	三〇六
若狭の宿	星合	節子	三〇七
熟女	星野	哲郎	三〇八
倅つかむの	細川	ふみ子	三〇九
からゆきさん	本城	さとる	三〇〇
玄海めおと節	本間	繁義	三〇一
葦が泣く	本郷	辰年	三〇二
下町人情通り	牧	房雄	三〇三
北海そだち	牧野	おさみ	三〇四
江東ブルース	益田	清	三〇五
三味線しぐれ	増山	一郎	三〇六
花背村	松井	由利夫	三〇七
忘れないでネ私のこと	松尾	ゆきを	三〇八
誉タービー	松岡	映彩	三〇九
新宿裏町涙雨	松岡	美勝	三〇〇
熱い翼	松崎	暎子	三〇一
SHAMPOO	松田	匡生	三〇三
嵯峨野の雨	松平	史紀	三〇三
恋やつれ	松永	夏女	三〇四
若返えれシルバーエイジ	松本	敦央	三〇五

津軽じょっぱり女節	松本	撰子	三三六
大島哀歌	松山	翔一	三三七
紅花ふるさと	真弓田	幸一	三三八
昭和街道	みお	こうすけ	三三九
愛人志願	美貴	裕子	三四〇
男節	美志磨	優樹	三四一
昭和風来坊	水木	れいじ	三四三
ほうずきの思い出	水野	甚太郎	三四三
水仙	みずの	稔	三四四
盃三味	三谷	勉	三四五
磐梯・去りがたし	道山	直樹	三四六
酒場の月見草	水口	勝明	三四七
この酒場で	南	かおる	三四八
悲しいことは言わないで	南	早苗	三四九
雪酒場	峰	よしを	三四〇
浅草流し唄	みや	秀和	三四一
天・地・男歌	三宅	立美	三四二
花の○チョンライフ	みやけ	知絵	三四三
ふるさとよ	みやざき	あきら	三四四
手話	宮地	洋子	三四五
旅行けば	宮原	哲夫	三四六
女泣かせの小糠雨	武藤	実	三四七
仙台堀川	村岡	一也	三四八
乙女川	村上	文恵	三四九

ひれん深山路	紫野	ゆき	三五〇
夕 萩 哀 歌	望 月	澄 子	三五一
ちよんまげ新左	杜	としを	三五三
母 体 告 知	森 岡	司	三五三
奥能登男旅	森 沢	洋	三五四
親 ご ころ	森 田	えい美	三五五
ま よ い 恋	八 木	吾 郎	三五五
私は恋の薬屋さん	矢 坂	秀 司	三五七
幸 せ 砂 丘	や ま	一 央	三五九
時よゆくがいい	山 上	路 夫	三六〇
友 禅 鼓 謡	山 北	由 希 夫	三六〇
恋 しく くて	山 崎	有 道	三六一
恋 恋 雨	山 田	孝 雄	三六一
命 の 土	山 田	博 士	三六三
柳ヶ瀬おんな酒	山 田	博 康	三六四
放浪おんな唄	や まだ	りゅう	三六五
四季の緑と我が古里	大 和	千 泉	三六六
女 の 星 座	山 中	雅 美	三六七
きらめいて愛	山 中	茉 莉	三六八
淡路島恋唄	山 本	恵 三 子	三六九
路地裏酒場	友 馬	綾 子	三七〇
愛をうたおう	友 里	裕 介	三七一
フアドゥ嘆き	湯 川	れい子	三七三
剣 無 情	雪 野	斗 詩 夫	三七三

おけさ流れ唄	夢	虹二	三〇
酒	横井	弘	三三
なみだの長持唄	吉岡	広己	三七
ここは春	吉川	徳子	三七
人生行脚	吉川	満	三七
女房志願	吉田	旺	三九
浜昼顔の詩	吉田	純治	三〇
スクランブル交差点	若林	圭子	三一
男の錦	若林	澄人	三二
後の祭り	若林	敏子	三三
最後のキスにして	若松	かつ子	三四
淡雪の宿	渡辺	和於	三五
宵しぐれ	渡辺	桂太郎	三六